1. 地区別の活性化コンセプト実現に向けた課題

地区別の活性化コンセプト実現に向けた課題は以下のとおりです。

1.1 堺旧港

活性化コンセプト:「都心での海辺文化・賑わいの再興」

【課題1】 公有地の早期活用

堺旧港周辺には、堺市所有の**低未利用地が存在**しています。堺市の玄関口である南海本線堺駅と 堺旧港の間に市有地があり、地区の**活性化には優位なポテンシャル**を有しています。

当地区のシンボルとなっている龍女神像があるが、周辺緑地を含めて<u>一体的な利用がなされてい</u>ません。

一方、実情はイベント時の駐車場等に使用されている程度で、**有効な活用がなされていなません**。 市民のニーズからは行きたくなる・楽しめる・憩える交流施設の整備・誘致を求める声が上がっています。

以上より、堺旧港においては、「公有地の早期活用」が必要です。

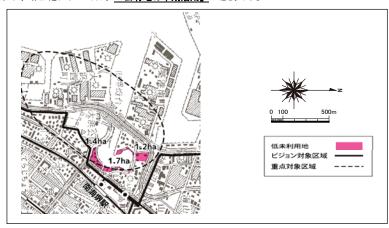


図 堺旧港周辺の市有地

【課題2】 市街地とのアクセス性の向上

堺旧港は堺駅及び宿泊施設と隣接しており利便性は高いが、堺旧港へのアクセスは、**国道 26 号や** 内川で分断されているため、歩行者は迂回を強いられています。上記の相互アクセスを示した案内 板等は設置されているものの不明瞭で、**アクセス性が損なわれています。**

また、市民ニーズからも堺駅からの**アクセス性に対する改善**を望む声が上がっています。 以上より、堺旧港においては**「市街地とのアクセス性の向上」**が必要です。



図 堺駅からのアクセス

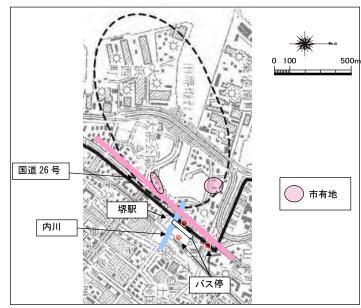


図 堺駅やバス停からのアクセス (国道、河川により分断された旧港)



図 迂回する歩行者交通の例

【課題3】 地区内の回遊性の確保

堺旧港においては、旧堺燈台や龍女神像などの歴史的建造物が存在しているが、入り組んだ地形のため、気軽に安全に**回遊することができません**。以前は堺旧港内で渡し船が出ており、旧堺燈台と龍女神像間を容易に行き来できたが、現在渡し船は行われていません。

旧港の運河を挟んで南北に大浜公園と大浜北公園が立地しているが、南北間のアクセスが容易ではないため、**一体的に利用されていません**。

また上記の相互アクセスを示した案内板等は設置されておらず、**回遊性が損なわれています**。

市民ニーズからも、**堺駅と旧港内の回遊性の向上**を望む声が上がっています。

以上より、堺旧港においては**「地区内の回遊性の確保」**が必要です。





図 旧堺燈台

図 龍女神像

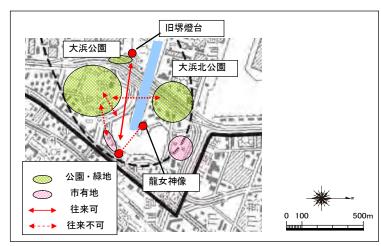


図 旧港内の回遊性

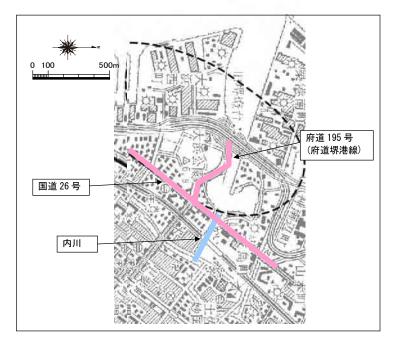


図 堺駅からのアクセス (国道、府道、河川により分断された市有地)

【課題4】 燈台・公園の賑わいづくり

燈台周辺緑地には、歴史的な文化遺産が多数存在しているが十分に活用されていません。

また、大浜体育館・大浜相撲場は、市民の体育・スポーツ、レクリエーションの振興を図り、健 康や体力の増進に資する施設です。施設利用者数に着目すると、平成17年度には約11万人であっ た利用者は平成21年度では約17万人となっており利用者数は増加傾向にあり、当地区に対するス ポーツ需要は高まっています。また、体育館の老朽化により建て替え時期が近づいていることから、 これに合わせたリニューアルの検討が必要となります。



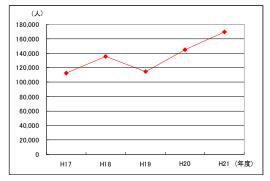


図 大浜公園の歴史・文化資源

図 増加する大浜体育館・大浜相撲場の利用

一方、大浜北公園については、大浜公園とのアクセス性が悪く、一体的な利用ができていません。 また、阪神高速湾岸線大浜ランプ下は、草木が茂っており**国指定の史跡に対して相応しい周辺整備** がなされていません。阪神高速湾岸線下の歩道橋を通り大浜公園との行き来が可能となっているが、 明確な案内表示がなく、**気軽に安心して立ち寄ることができません**。

市民のニーズからは、臨海部の親水公園・緑地の整備推進を望む声が上がっています。 以上より、堺旧港においては「燈台・公園の賑わいづくり」が必要です。



図 阪神高速高架下の歩道橋

【課題5】 高架道路、周辺工場等の景観への配慮

堺旧港には、階段式の親水護岸や旧燈台、リーガロイヤルホテル堺等の良好な視点場があります。 また、江戸時代から残る石積み護岸など貴重な資源を有している。一方で、周辺の風光明媚な景観 とは調和がとれていない工場群が存在しています。

以上より、堺旧港においては「高架道路、周辺工場等の景観への配慮」が必要です。





図 リーガロイヤルホテル堺からの眺望





図 堺のシンボル旧堺燈台







図 江戸時代から残る石積み護岸

【課題6】 みなとの賑わいの創出

中世、堺は世界各国との交易が盛んに行われ、人・物・情報が行き交う国際貿易都市として繁栄 したが、現在ではその面影がなくなっています。

堺旧港では階段式の親水護岸の整備が進んでおり、良好な親水空間及び良好な視点場が確保されています。整備済みの南側護岸前面の水域は、マリーナなどにも使用されています。

また、東洋一のリゾート地とうたわれたかつての賑わいの面影はみられません。大阪湾周辺の主なレクリエーション施設の整備状況をみると、堺臨海部は大阪湾周辺の他地域と比較するとレクリエーション施設が乏しい状況にあり、堺臨海部に賑わいを形成するためには、更なるレクリエーション施設を整備することが考えられます。

大阪湾周辺の商業施設の分布状況をみると、百貨店・専門店型の商業施設は、市街地中心部に隣接して立地する傾向にあります。一方で、郊外型の大規模なショッピングセンター系の施設は、店舗間に一定の距離をおいて立地する傾向にあります。これは、百貨店系の店舗は主に買回り品を商品としているため店舗間での回遊性を求められることに起因する一方で、ショッピングセンター系の店舗は主に最寄品を取り扱っているため、店舗ごとに差別化を図りにくいことから近接して立地することで競合することが理由と思われます。

堺臨海部においても大規模商業施設 (えんため館) は立地しているが、郊外型商業施設であるため、堺臨海部への更なる大規模商業施設の立地を考える際には、前述の理由から百貨店型の店舗ではなく、専門系の店舗がよりふさわしいと考えられます。

また、大阪湾の旅客船の就航状況をみると、神戸港、大阪港、堺泉北港から主に四国や九州に向けて数多くの定期便が運行されています。一方で、堺臨海部から定期便は運行されておらず、遠方からの人々の玄関口としての機能が薄く、人と人の交流が十分に発生していない状況にあります。

一方で北側護岸は水際線に近づけない箇所もあり、早急に整備が望まれています。

市民のニーズからは臨海部の賑わい、親水空間の整備推進を望む声が上がっています。

以上より、堺旧港においては<u>「みなとの賑わいの創出」</u>が必要です。

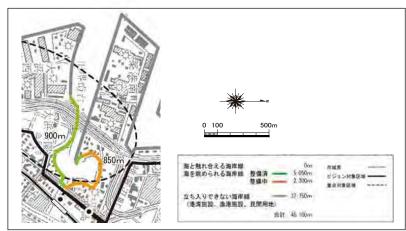


図 水域の利用状況(マリーナ)



出典: 堺市立図書館 HP より

図 かつての大浜海岸の賑わい



※図中の数字は、臨海部全体での数字である

図 水際線のパブリックアクセスの状況



出典:大阪湾環境データベース

図 大阪湾における主な施設の整備状況(左から文化・スポーツ施設、複合施設、展望施設)

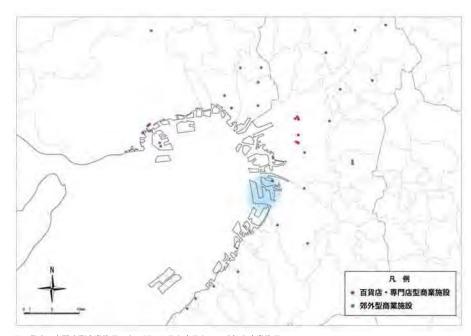


図 大阪湾発着のフェリー定期航路

表 大阪湾発着のフェリー定期航路

運航事業者	船名	就航航路	航海数
関西汽船㈱	さんふらわあ あいぼり	大阪/神戸/今治/松山/別府(直行あり)	2便/日
	さんふらわあ こばると		
	さんふらわあ にしき		
	さんふらわあ あいぼり	大阪/坂手	1便/日
	さんふらわあ こばると		
㈱名門大洋フェリー	フェリーおおさか	大阪/新門司 	2便/日
	フェリーきたきゅうしゅう		
	フェリーきょうと2		
	フェリーふくおか2		
阪九フェリー(株)	ニューあかし	大阪(堺泉北)/新門司	2便/日 土・日1便/日
	ニューながと		
	やまと		
	つくし		
	フェリーせっつ	神戸(六甲アイランド)/新門司	1便/日
	フェリーすおう		
㈱ダイヤモンドフェリー	さんふらわあ ごーるど	大阪/神戸/今治(松山)/大分/別府	2便/日
	ブルーダイヤモンド		
	スターダイヤモンド		
	さんふらわあ さつま	大阪/志布志	1便/日
	さんふらわあ きりしま		
宮崎カーフェリー(株)	みやざきエキスプレス	大阪/宮崎	1便/日
	おおさかエキスプレス		
マルエーフェリー(株)	琉球エキスプレス	神戸/大阪/奄美/那覇	6-7便/月
四国開発フェリー株	おれんじ7	新居浜/東予/大阪 	2便/日
	おれんじ8		
	おれんじホープ	新居浜(詫間)/神戸	6便/週
ジャンボフェリー(株)	こんぴら2	神戸/高松	5便/日
	りつりん2		
チャイナエキスプレス(株)	燕京	神戸/天津(中国)	1便/週
日中国際輪渡有限公司	新鑑真	大阪/神戸/上海(中国)	1便/週
上海フェリー(株)	蘇州号	大阪/上海(中国)	1便/週
パンスターライン・ドット・コム		大阪/釜山(韓国)	1便/日
	PANSTAR SUNNY		
海上アクセス	うみ	神戸/関空	20便/日
	そら		
	しゃるまん		
㈱神戸クルーザー	コンチェルト	神戸/明石海峡	4便/日
ルミナス観光㈱	ルミナス神戸2	神戸/明石海峡・神戸空港沖	2便/日 土日祝3便/日

出典:フェリー・旅客船ガイド(2011 春季号)



※百貨店・専門店型商業施設:主に買回り品を商品として取扱う商業施設

郊外型商業施設:主に最寄り品を商品として取扱う商業施設

出典: H12~H22における大規模小売店舗立地法の届出件数による売場面積30,000m2以上の施設を抽出

図 大阪湾周辺の商業施設の分布状況

【課題7】 親水空間に相応しい港内の水質改善

堺旧港周辺の内川での BOD 値は近年ほぼ横ばいとなっています。

内川・土居川への海水導入や浚渫、合流改修事業などで水質改善を行っているが、夏場は悪臭等

もひどく、親水空間として利用することが難しい状態にあります。

市民のニーズからも、水質環境の改善を望む声が上がっています。

以上より、堺旧港においては<u>「親水空間に相応しい港内の水質改善」</u>が必要です。

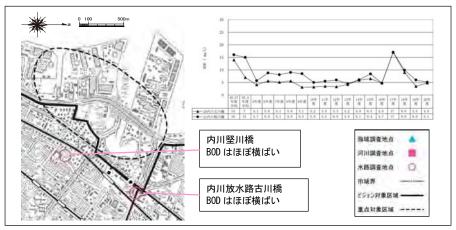


図 堺旧港の水質



図 土居川における海水導入と浚渫による水質改善の取組み

【課題8】 公有地の活用

堺旧港には未利用の公有地が存在するが、旧港護岸より離れており、単独での利活用は困難であることから、<u>「公有地の活用」</u>が必要です。

【課題9】既存賑わい施設の活性化

堺出島漁港に立地するとれとれ市では、土曜・日曜に地元大阪湾の海で水揚げされた海産物の販売が行われ多くの人々が訪れて賑わっています。 堺旧港の周辺を見た時、ハード面、ソフト面で活性化を図ろうとしている区域と連携することにより、さらなる賑わいの創出が期待されます。

以上より、とれとれ市においては、堺旧港での各種イベント等と連携を行うことで<u>「既存賑わい</u> 施設の活性化」が必要です。



図 土曜・日曜に開催されるとれとれ市